



## 働くくるま、珍しいくるま大集合！で自衛隊車両が大人気！ ～第45回東京モーターショー2017付帯イベントで広報活動実施～

東京地本は、10月28日、29日の2日間、東京ビッグサイトにおいて開催された東京モーターショー2017の付帯イベント「働くくるま・珍しいくるま大集合！」に広報ブースを2年ぶり（4回目）に出展した。

この付帯イベントは、東京モーターショーを盛り上げるための自動車のコミュニケーションイベントであり、東京地本は働くくるま部門に、東京消防庁、警視庁、首都高速道路株式会社及び日本自動車連盟（JAF）とともに車両展示をメインとした広報ブースを出展した。

また、付帯イベントが開催された「シンボルプロムナード公園」は青海、有明及び台場の各エリアを結んでいる公園で東京ビッグサイトまで続いており、台風22号が近づいている大雨にもかかわらず、東京モーターショーを訪れた約15万8千人の内、約8万人もの人々が「働くくるま・珍しいくるま大集合！」のコーナーに来場した。

広報ブースでは、陸自第1普通科連隊第3中隊（練馬）の支援を受け、軽装甲機動車、高機動車及び偵察用バイクを展示した。車両展示に訪れた来場者は、高機動車に乗車したり、偵察用オートバイにまたがったりして、決めポーズで写真撮影を楽しんでいた。また、災害派遣活動や自衛隊装備品のパネル展示及び制服等の試着コーナーは、若者や家族連れに人気で、制服等を試着し装備品の前で記念撮影をする姿が多く見受けられた。さらに、海自横須賀地方総監部の協力による護衛艦「ひゅうが」の模型及び南極の氷や石の展示では、興味を持った人々が珍しそうに触れながら質問をしたり、写真撮影をするなど、多くの人で賑わった。

来場者からは「やっぱり本物は違う。自衛隊の車が一番カッコいい。」「モーターショーに来たのに、いきなり入場前から楽しすぎる。」「と日頃見る機会のない自衛隊車両や南極の氷、制服の試着等体験型の自衛隊ブースを楽しむ声や災害派遣パネルを見て、「いつもありがとうございます。頑張ってください。」という励ましの声を多数頂いた。

東京地本は、今後も多くの一般市民と触れ合うことが出来るようなイベントを積極的に活用し、多くの方々に自衛隊の魅力を発信していくとしている。



## 「東京ラーメンショー2017」で広報活動 ～装備品や音楽隊コンサートが大人気～

東京地本（本部長 楠見陸将補）は、平成29年11月3日から11月5日までの間、駒沢オリンピック公園において開催された「東京ラーメンショー2017」に広報ブースを開設した。

「東京ラーメンショー」は、一般社団法人日本ラーメン協会及び東京ラーメンショー2017実行委員会が主催する日本最大級のラーメンイベントで10月26日から11日間にわたり実施された。東京地本が参加した3日間は連休ということもあり約18万人ものラーメンファンが来場した。

また、公園に隣接する体育館や球技場では、関東学生ラグロスリーグの試合等様々な大会が実施されており、ラーメンファンのほか多くの学生が広報ブースを訪れた。

広報ブースでは、制服等の試着や災害派遣活動・自衛隊装備品のパネル展示を行うとともに、第1普通科連隊（練馬）の重迫撃砲中隊及び本部管理中隊の支援を受けて、軽装甲機動車、高機動車、オートバイ、防弾チョッキ及び鉄帽の展示を実施し、来場者から多くの関心が寄せられていた。特に、防弾チョッキと鉄帽の試着は列が出来るほど大人気で、その重さに驚きながらも、展示装備品の前で記念撮影をして盛り上がる若者が多数みられた。また、試乗可能な高機動車も親子連れに大人気で、積極的に運転席や後部座席に試乗し、記念撮影を楽しんでいた。

最終日の5日は、予備自衛官・即応予備自衛官ポスターのモデルを務めた「碧さやか」さんが応援に駆けつけ自衛隊PRに華を添えた。また、第1音楽隊（練馬）による野外コンサートでは、「ワシントンポスト」を皮切りに幅広い年齢層にマッチした計5曲の演奏が行われ、来場者を魅了するとともに大きな拍手のアンコールに応えイベント全体をさらに盛り上げた。

4日には本部長も現地を視察し、支援部隊の隊員及び地本職員を激励するとともに、本部長自らトウチ君とともに広報ブース付近を回り、自衛隊・東京地本を積極的にPRした。

来場者からは、「ラーメンより自衛隊が一番楽しい。」「初めて自衛隊の車両を直接見ることができ、興奮しました。」「いつもお疲れさまです。これからも頑張ってください。」「等、多数の激励の言葉を頂いた。

東京地本は、より多くの国民に防衛省・自衛隊に対する理解を深めてもらえるよう、今後も様々なイベントを活用し、広報活動を展開していくとしている。

